

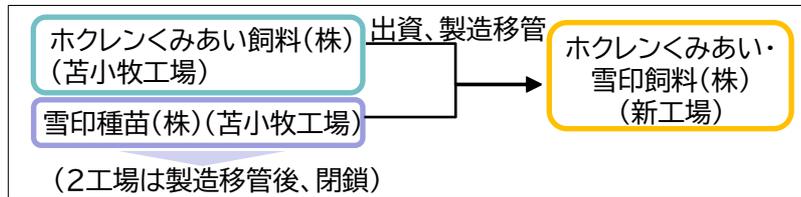
農業競争力強化支援法の認定案件の事業再編整備

- 農業競争力強化支援法に基づき認定された事業再編計画は6件。
- 事業再編には、生産性及び財政内容の健全性の向上や配合飼料の販売価格の抑制にも効果があった等の意見あり。

認定案件の事例

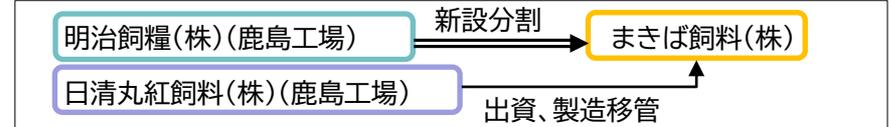
ホクレンくみあい飼料(株)、雪印種苗(株)、
ホクレンくみあい・雪印飼料(株)(令和元年7月認定)

【北海道】合併会社を設立し、飼料製造を移管



明治飼糧(株)、日清丸紅飼料(株)、西日本飼料(株)
(令和元年7月認定)

【関東】子会社を新設し、牛用飼料の製造を移管



【関西】既存子会社に資本参加、牛用飼料の製造を移管



事業再編の効果検証

- 単独で老朽化に伴う飼料工場の新設を行うところ、飼料メーカー2社が共同で出資した合併会社(ホクレンくみあい・雪印飼料(株))が飼料工場を新設することで更新費用の負担を軽減。
- 令和5年度の牛用飼料の製造経費/売上高について、電力料などエネルギー費の高騰等があったものの、平成29年度におけるホクレンくみあい飼料(株)苫小牧牛用工場と比べて0.6%低減、雪印種苗(株)苫小牧工場と比べて1.7%低減。
- 農業競争力強化支援法に基づき事業再編計画の認定を受け、金融機関からの低利融資等で、営業外費用を低減。

事業再編の効果検証

【関東】

- 製造工場の生産性向上(設備稼働率が42ポイント上昇)。
- 水道光熱費の顕著な高騰があり、加工費単価は微増する年も見られたが、稼働率上昇により他の加工費原価は期待通りに減少する等、販売単価への影響を充分抑制。
- 工場(新会社)の経常収支率も協業前と比較して、約3割向上。

【関西】

- 農業競争力強化支援法の認定を受け、農畜産業振興機構の補助事業で承認を受けた借入金に対する利子助成について西日本飼料の製造コストの一部と相殺することで製造コスト単価を抑制。
- 西日本飼料では、再編により、電気代を含むエネルギーコストの上昇による製造コスト上昇への影響を抑制。

飼料輸送の合理化

- 物流分野の高齢化、2024年問題による人手不足が懸念される中、飼料輸送は、特殊車両を使用すること、飼料タンクに上って在庫確認や納品を行う高所作業が発生することなどから、他の品目と比較して特にトラックドライバーの確保が困難な状況。
- 飼料輸送特有の課題に早急に対応しなければ、飼料が畜産農家に届かず、畜産業が継続できなくなるおそれ。
- そのような事態を避けるために、業界が連携して飼料輸送の合理化を図っていくことが急務であり、農林水産省では飼料輸送の合理化の取組を支援。

飼料輸送特有の課題

トラックドライバーにかかる負担	具体的な内容
危険を伴う作業の発生	飼料タンクに上る高所作業、添加剤等の投入・混合作業、農家ごとの車両消毒、代用乳や単味飼料等の紙袋(20kg)の人力積み下ろし
配送計画を無視した発注への対応	飼料タンクの残量確認不足による直前の発注、発注忘れなどの手続きの不手際
非効率な配送環境への対応	配合飼料工場の太平洋側への集約化で輸送距離が長距離化、特殊車両での輸送が多く人手不足、荷積み時の待機時間の発生

飼料輸送の合理化

作業負担の削減と安全性確保、
運賃と附帯業務に対する料金の明確化

飼料の正確な需要把握と効率的な配送計画

長時間輸送の削減

飼料輸送特有の課題①

- 飼料タンクに上る高所作業や添加剤等の投入・混合作業などの危険を伴う作業が発生。
- 飼料タンク(3~10m)に上り蓋を開けてバルク車(飼料配送車)から飼料を投入。
- 高さ約3mのバルク車に20kgの添加剤等の紙袋を肩に担いで梯子を上り飼料を投入・混合。

危険を伴う作業の発生

<飼料タンクに上る高所作業>

【現状:高所での作業による事故等の発生】

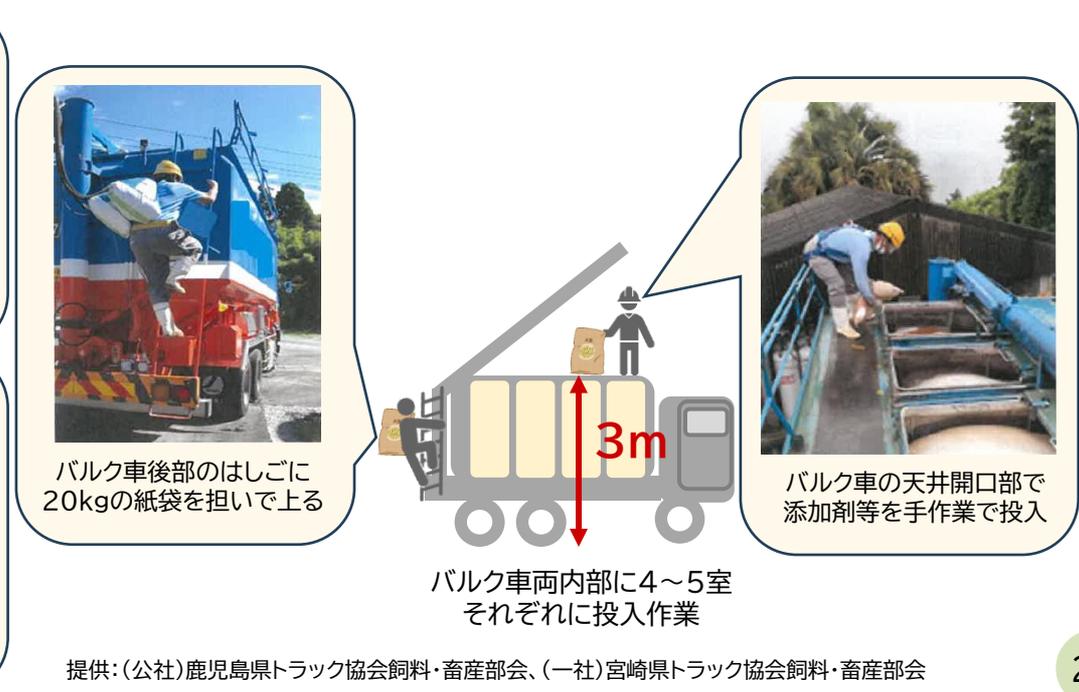
- ・ 安全対策のないはしごから足を滑らせて骨折
- ・ 高さ6mのタンク投入口から地面に墜落
- ・ 腐食したタンク上で作業中にタンクもろとも倒壊



<添加剤等の投入・混合作業>

【現状:運送事業者の本来業務ではない作業(附帯業務)の負担の発生】

- ・ バルク車に紙袋を担いで上る際に怪我
- ・ 添加剤等を混合した後の都度の車両洗浄が必要
- ・ 作業の対価が支払われず運送事業者によるサービス対応



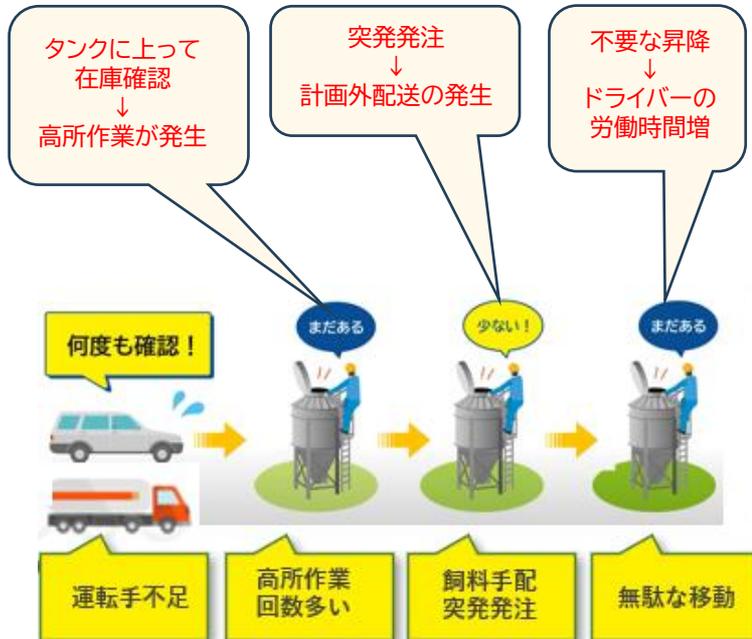
飼料輸送特有の課題②

- 飼料タンクの残量確認不足による直前の発注など配送計画を無視した発注への対応が発生。
- 配合飼料工場が太平洋側に偏在し輸送距離が長距離化、立地状況によって複数回の輸送を行う小口配送による長時間輸送など、非効率的な配送環境への対応が発生。

配送計画を無視した発注

【現状：付帯作業や計画外配送の発生】

- ・ 庭先のタンクの在庫確認や発注代行を行う運送事業者が多数
- ・ 不規則な配送への対応や多頻度の在庫確認作業に苦慮



非効率的な配送環境

【現状：輸送距離の長距離化、長時間輸送】

- ・ 道が狭い地域や配送先が点在する地域への複数回の輸送対応(小口配送)

<小口配送の例>



飼料輸送特有の課題への対応(合理化の取組)

- 納品時の飼料タンクへの昇降回数や在庫残量不足による突発的な発注・配送、長時間輸送の削減につなげるため、農林水産省では飼料タンク蓋開閉装置やセンサーによる在庫管理の導入、ストックポイントの設置等による輸送の合理化の取組を支援。

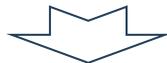
危険を伴う作業の発生への対応
(飼料タンク蓋遠隔開閉装置の導入)

<納品時の作業削減イメージ>

【取組前】

蓋開け(1往復) → 補充 → 蓋閉め(1往復)

昇降回数の削減



【取組後】

蓋開け(0回) → 補充 → 蓋閉め(0回)



飼料タンク蓋遠隔開閉装置

写真提供: JA鹿児島県経済連

配送計画を無視した発注への対応
(飼料タンク在庫管理センサーの導入)

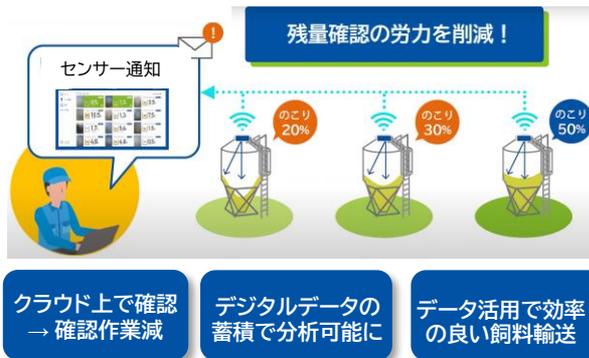
【取組前】

- ・適正な在庫管理が行われないことによる残量不足での突発的な配送発注
- ・目視での在庫確認や納品に伴う高所作業の発生



【取組後】

- ・在庫センサーにより適期の配送が可能になり、突発的な発注による輸送が削減(高所作業の回数削減)
- ・在庫管理により配送計画(日時、配送ルート、積載量)が効率的に機能



(出典)JA宮崎経済連

非効率的な配送環境への対応
(ストックポイントの設置)

【取組前】

- ・飼料工場から農家までバルク車で長距離輸送

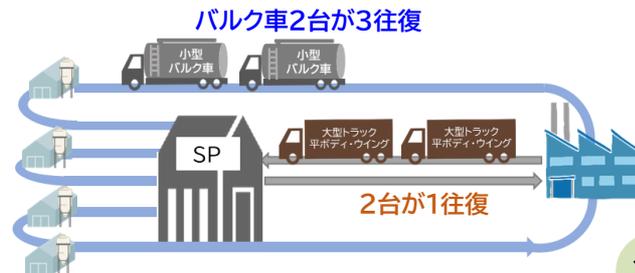


小口配送農家

飼料工場

【取組後】

- ・ストックポイント(SP)まではトラック(平ボディやウイング車)にコンテナを載せてまとめて輸送し、SPにてコンテナからバルク車に詰め替えて農家へ配送し、
- ・バルク車の人員が1名削減
- ・作業時間を2.5時間/日/人削減



次期酪肉近に向けた論点



過度な輸入依存
からの脱却

国際情勢に左右される輸入飼料への過度な依存から脱却し、畜産経営の安定を図るためには、地域の実情や需要に応じた国産飼料の確保が必要ではないか。



担い手の確保

飼料生産に係る労働力不足に対応するため、オペレーター育成・確保、年間を通じた業務・収益の確保、作業機械の導入など飼料生産組織の運営強化が必要ではないか。



持続的な
飼料生産の確保

限られた農地や労働力を有効に活用し、持続的な飼料生産を確保するため、草地改良や大区画化等の草地基盤整備の着実な実施、良質で栄養価の高い飼料作物の作付け拡大により、飼料の生産性の向上を図っていくことが重要ではないか。



飼料生産技術の向上

限られた農地や労働力を有効に活用し飼料の生産性向上を図るため、スマート農業技術の開発・普及を促進することが重要ではないか。



国産粗飼料の
流通・販売

耕種と畜産が偏在する中、限られた農地をフル活用し飼料の生産・利用を拡大するため、効率的な飼料輸送や販売時の品質表示の普及を図っていくことが重要ではないか。

次期酪肉近に向けた論点



飼料も含めた 地域計画の策定

限られた労働力で農地を有効活用し、各地に適した生産・利用を拡大するため、「地域計画」の協議に畜産関係者も参加し、計画に飼料生産を位置づけて取り組むことが重要ではないか。



草地の放牧利用

条件不利地の活用や飼養管理の省力化のため、周辺住民の理解醸成等を通じた放牧の更なる活用が必要ではないか。
畜産農家の労働負担軽減に資する公共牧場を有効に活用するため、公共牧場の設備・機械の導入や人手不足などへの対応が必要ではないか。



配合飼料の安定供給

不測の事態において、生産者に安定的に配合飼料を供給するため、民間備蓄への継続的支援や輸入先国の多様化を検討することが必要ではないか。



配合飼料製造業の 事業再編

配合飼料価格の抑制に繋げるため、事業再編による製造コストの低減に向けた業界の取組を促していくことが重要ではないか。



飼料輸送の合理化

飼料輸送を持続的なものにするため、飼料輸送にかかる作業負担削減や長時間輸送削減等の飼料輸送の合理化を図っていくことが必要ではないか。